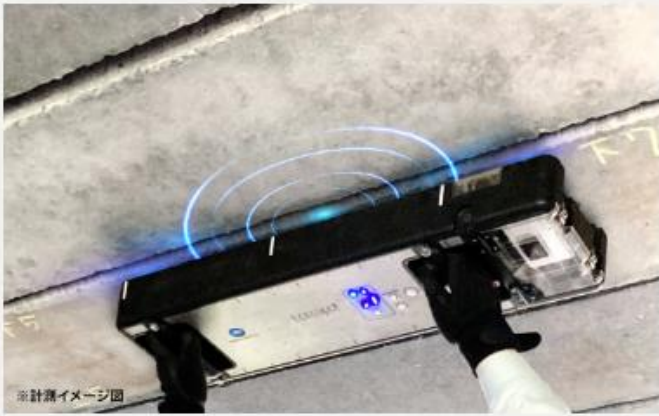


臨御橋架け替えプロジェクトの経緯

- 平成31年2月上旬 臨御橋架け替えプロジェクトの準備開始
・寄附募集やHP掲載、ポスター等の準備
- 平成31年3月5日 第1回定例会（議員懇談会）に資料提出
「臨御橋の架け替えについて」
・臨御橋の架け替え（現況と同じ形態で再建）
・概算費用2億円をふるさと納税で募ること
- 平成31年3月29日 臨御橋周辺及び海岸の清掃活動
・一色第3、4、5町内会及び下山口町内会と一緒に清掃を行った。
- 平成31年4月1日 臨御橋架け替えプロジェクト始動
・寄附金募集開始
- 令和2年4月 調査基本設計業務委託
～
令和2年10月
・架け替えのための調査及び基本設計
- 令和3年10月1日 第3回定例会（議員懇談会）に資料提出
「臨御橋の現状、県土木との協議結果、目指す工事内容について」
- 令和4年3月 橋梁詳細設計業務委託
～
令和4年8月
・工事車両及び工事部材等搬入路調査
- 令和4年12月 神奈川県横須賀土木事務所に工事工法について相談
・民間コンサルタント業者等へ相談、とのアドバイスを受ける。
- 令和5年1月 民間コンサルタント業者へ相談
・橋桁内部状態が把握できないと工法が検討できない、との回答
・橋桁内部状態調査について見積依頼（4月に見積提出あり）
- 令和5年5月 神奈川県横須賀土木事務所に経過及び内部状態調査の実施を報告
- 令和5年6月14日 第2回定例会
・橋桁内部状態調査及び状態評価業務委託の補正予算を上程

橋桁内部状態調査について



完全な非破壊検査を、簡単に素早く広範囲で内部鋼材の破断状況を把握

特殊な磁石と磁気センサーを搭載した計測装置と、計測結果を解析・可視化するSenrigaNクラウドによって、PC鋼材や鉄筋の破断を迅速に（16cm×53cmあたり15秒程度）、非破壊で検査できます。従来難しかった広い範囲の鋼材破断状況を把握する事が出来るため、橋梁の実際の状況に即した対応を検討頂くことが可能です。

今後、橋梁の老朽化が進んでいく中で、効率的に鋼材破断有無を確認する事が必要となります。
破断箇所を把握することで、本当にケアすべき橋梁を見える化し、予防保全の実現に寄与します。



現場で手軽に計測できる事を目指した計測器

多くの実際の橋梁での実証実験を経て、現場で使いやすいデザインを実現しました。計測装置は約3.4kg、磁石ユニットは約4.3kgと軽量で、一日通しての作業も可能です。現場での計測手法の切り替え（手法についてはこちらを参照ください）も簡単です。

桁写真

非破壊検査は

スパン A～C のうちいずれか 1 スパンを対象とする。

